



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信



【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.36  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp)

## 議員定数 7名減の21名へ

— 一次回市議選(平成27年4月予定)から —

真岡市議会では、昨年6月に各党派や当選期別などの代表が集まり『議会制度定数・報酬等検討委員会』を立ち上げました。

この中で、次回市議選における議員定数について協議を進めてきましたが『議員定数は奇数の方が望ましい』『現在4つある常任委員会(総務、文教、民生産業、建設)を将来的には3つに再編成すべき』などの意見が交わされ、定数を21とするとの結論が出されました。

2月定例議会最終日の3月14日(水)に採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 議員報酬 20%削減を継続

東日本大震災による市民生活への影響などを考慮し、真岡市議会では昨年7月から議員報酬を20%削減してきました。

しかし『震災からの復興にはまだ時間がかかる』との判断から、平成24年度についても引き続き報酬の20%削減を継続することにいたしました。

なお、今回の削減により、1年間で5484万円の歳出抑制が図られることとなります。

## 2月定例議会報告 2/21▶3/14



中村は、2月27日の午後と28日の午前に議長役を務めました。

2月定例議会が2月21日(火)から3月14日(水)にわたって行われ、平成24年度当初予算をはじめ39議案について審議。いずれも原案通り可決されました。

また、質疑・一般質問は2月27日(月)、28日(火)の2日間で計10名の議員が登壇。執行部との論戦を展開しました。

### 議場コンサートを開催しました!

質疑・一般質問の初日にあたる2月27日(月)午前9時20分から議場コンサートを開催。『舞ヶ丘合唱団』の皆さんがさわやかな歌声を披露しました。

この議場コンサートは、市民の皆様により気軽に議会傍聴に足を運んでいただくことを目的としているもので、今後も質疑・一般質問初日の開始前に行ってまいります。



市民と市政のかけ橋になりたい!

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!

お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を!

「見逃した!」という方に  
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜35号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は

7月22日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

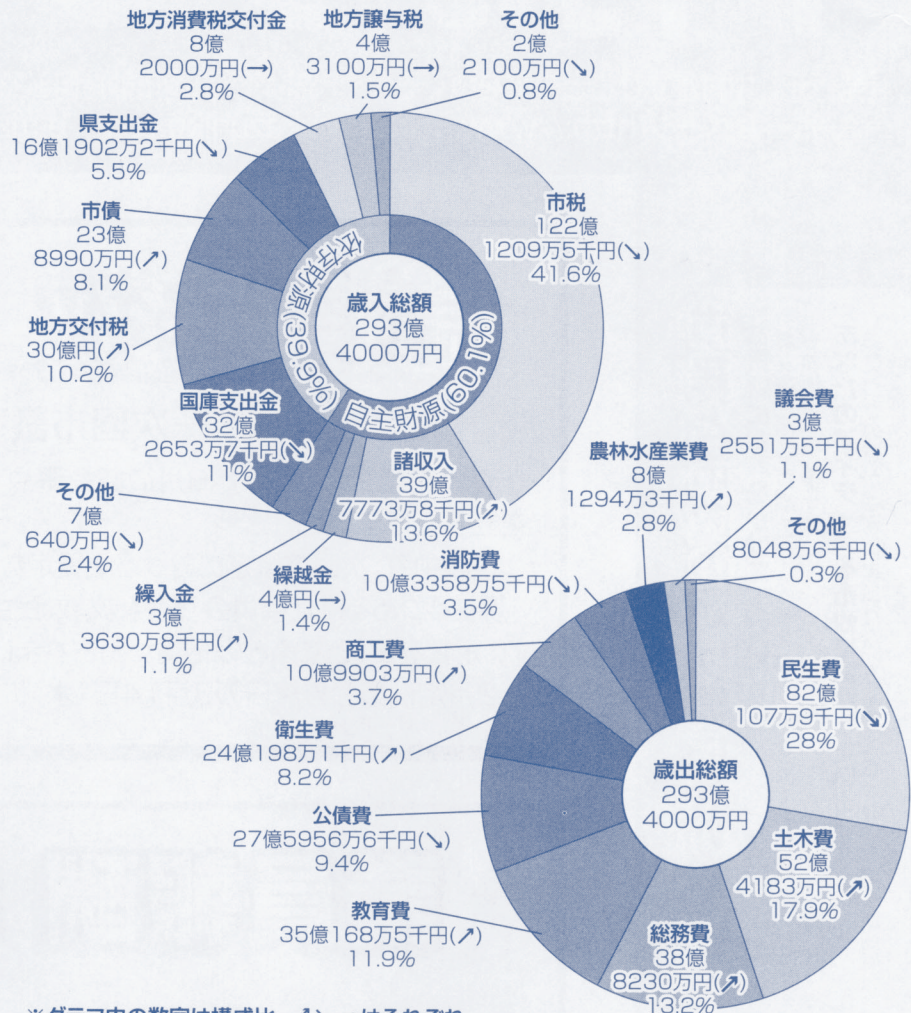
# 真岡市 平成24年度 当初予算が決定

総額は **500億3347万2千円** (前年比11億4176万9千円増)

## 平成24年度 会計別予算額

会計名	当初予算額
一般会計	293億4000万 円
特別会計	
国民健康保険	84億8228万6千円
後期高齢者医療	5億9790万2千円
介護保険(保険事業勘定)	46億5781万6千円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1185万9千円
インターチェンジ周辺開発事業	8億8604万6千円
公共下水道事業	33億1132万5千円
農業集落排水事業	4億4189万 円
簡易水道事業	6223万6千円
計	184億5136万 円
水道事業会計	22億4211万2千円
合計	500億3347万2千円

## 一般会計(293億4000万円の内訳)



※グラフ内の数字は構成比。↗↘はそれぞれ、前年度と比較して増額、減額、同額を示しています。

## How much?

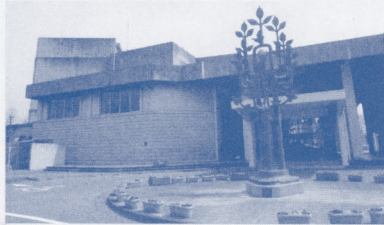
**真岡市の市債償還予定額**  
(今後、市が返さなくてはならない借金)  
総額 **563億3291万円**  
(前年比 16億8069万円減)

一般・特別・水道事業+利子含む  
(平成22年度末現在)

# 東日本大震災関連の予算は 5億2558万1千円

(一般会計・特別会計・水道事業会計の合計)

**市民会館の再整備に 3億3456万 円**



平成24~25年度に  
合計16億円をかけて  
リニューアルする計画です。

**がれきの処理に 4037万8千円**



**災害ごみ搬入受け入れ**  
(現時点で決定している日程)  
**5月10日(木)~12日(土)**  
**6月7日(木)~9日(土)**  
搬入場所 旧コンピュータ・カレッジ  
搬入時間 9時~16時

**放射能測定に 1045万3千円**

- ・ 保育所給食放射能測定 189万 円
- ・ 学校給食放射能測定 104万 円
- ・ 水道水放射能測定 562万8千円
- ・ 下水道汚泥・焼却灰測定 144万 円
- ・ 農業集落排水汚泥・焼却灰測定 45万5千円

**子ども達の就学支援に 357万2千円**

- ・ 私立幼稚園就園奨励費補助 71万1千円
- ・ 児童・生徒就学援助事業 286万1千円

**住まい・仕事の再建に 1419万8千円**

- ・ 住宅等災害復旧資金利子補給金 700万 円
- ・ 中小企業等災害復旧資金利子補給金 519万8千円
- ・ 農業用緊急電力確保支援事業 200万 円

**防災対策に 1億2242万 円**

- ・ 災害対策本部費 382万9千円  
(備蓄品購入、災害対策本部電話回線工事、住宅被害認定調査等)
- ・ 避難所関連経費 2921万5千円  
(避難所看板設置、特設公衆電話設置、非常用発電機等)
- ・ 防災マップ作成費(3万部) 65万6千円
- ・ 災害時協力井戸看板作成費(341箇所) 682万 円
- ・ 水道取水施設自家発電機設置 7098万 円
- ・ 簡易水道浄水場・取水場自家発電機設置 1092万 円

芳賀地区1市4町の正副議長で構成する『芳賀地区広域行政事務組合議会』の平成24年第1回定例会が3月1日(木)に行われました。今回の主要テーマは『平成24年度当初予算』についてでした。

## 芳賀地区広域行政事務組合が取り扱う課題

- ・消防 ・救急医療(救急医療センター運営を含む) ・学校教育 ・卸売市場運営 ・斎場運営
- ・し尿処理施設運営 ・ごみ処理施設整備 ・市町職員研修 ・ふるさと振興事業 など

芳賀地区広域行政事務組合 平成24年度 会計別予算額	
会計名	当初予算額
一般会計	25億9822万5千円
救急医療センター特別会計	7247万3千円
ごみ処理施設特別会計	25億5736万8千円
卸売市場特別会計	1190万6千円
芳賀地方ふるさと市町村基金特別会計	1138万1千円
合計	52億5135万3千円

芳賀地区広域行政事務組合の運営に要する真岡市の負担金は、**15億1345万円**  
(一般会計、特別会計合わせて)

ごみ処理施設特別会計が平成23年度と比較して16億3886万8千円増額となっています。これは、24年度から施設の建設が本格的に着工することによるものです。

## 中村が行った質疑の内容(概略)

**ごみ処理事業基金条例の制定について**  
基金を有価証券に代えるということだが、何に代えるのか。また、その際の手続きは。  
【答弁】主に国債を考えており、組合長の判断で行う。

**一般会計のうちの清掃費について**  
第2環境クリーンセンターの焼却灰乾燥汚泥処理委託が、倍近くに費用が増加した理由は。  
【答弁】放射能の関係で肥料の原料として使えず、処理方法が変わるため増加した。

**一般会計のうちの教育費について**  
学校訪問指導に対して旅費が計上されている理由は。  
【答弁】出張には公用車を使うが、空きのない場合自分の車で出かけることがあるため、旅費を計上している。

**救急医療センター特別会計について**  
利用者数を平成23年度より少なく見込んでいる理由は。また、利用者の待ち時間などは現状でどうなっているのか。  
【答弁】前年度の利用者数を根拠としており、平成24年度は6,600人ほどと見込んでいる。対応については多い日で10件を超えることもあるが、利用者からの理解は得られているものと考えている。

**芳賀地方ふるさと市町村基金特別会計について**  
芳賀地区が観光行政を連携して行うことはとても重要と考えるが、1市4町がそれぞれに行うものとのように整合性を図るのか。  
【答弁】あくまでも基金の果実で運営されているので、使途はS L 運行事業への負担金などに限定されている。

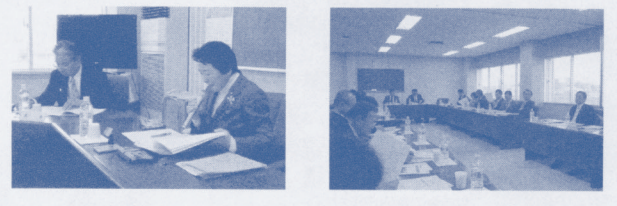
# 特集 真の議会改革に向けて

## なぜ議会改革は必要なのか？

2000年(平成12年)に「地方分権一括法」が施行されて以降、各自治体とも独自の判断、アイデア、責任によって、まちづくりを進めることが強く求められるようになりました。その中であっては、首長だけでなく議会もその役割が重要視されています。首長や行政への監視機能を強め、市民との意見交換を重ねつつ、議員個々の政策立案能力を高めることにより、地域の活性化・市民生活の向上を達成していく。そのために従来の制度や慣習のみにとらわれることなく、新たな議会制度づくり、議会改革が今求められているのです。

## こんな取り組みもしています 『議会基本条例勉強会』を開催(2/14)

現在、各地の議会では『議会基本条例』を制定させているところが増えています。真岡市議会においても、議員同士の共通認識を持つことが必要と考え、2月14日(火)、議員全員で勉強会を開催。今回は講師として、既に『議会基本条例』を制定するなど先進的な取り組みを行っている栃木市議会の大川秀子議長をお招きしました。



## 議員定数削減、報酬削減のその先に… 今後、議論が必要な課題とは？

提言!

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>政策議論をもっと深めるために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問時における「一問一答方式」の完全実施</li> <li>・議員間の「自由討議」の実施</li> <li>・議員協議会のあり方見直し</li> <li>・「通年議会」の導入</li> </ul> | <p><b>市民に開かれた議会づくりのために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議等のインターネット配信</li> <li>・市民に向けた「議会報告会」の開催</li> <li>・議会ホームページと市議会だよりの充実化</li> </ul> <p><b>新しい議会制度の体系づくりとして</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会基本条例の制定</li> </ul> |
|---|---|

## コラム ずーむあっぴ

### 議会改革、道半ば。一定数・報酬削減の議論を経て思うこと

2月定例会議の最終日となった3月14日、『次回市議選における定数削減(28名→21名)』と『議員報酬20%削減の継続』が議員案として出され、いずれも賛成多数で可決された。これらの件については、事前に新聞で報道されたこともあり、県内他市の議員などからも様々な意見が寄せられ、こちらが予想していた以上に反響が大きかったことに驚いている。3年前、二宮町との合併直後にも議員定数については話し合いが行われた。しかし、その際は「現状維持(28名のまま)」という方針となった。このことについては、市民の方々からも厳しいご意見が寄せられ、そうした中で昨年春の市議選を迎えたのである。改選後ただちに『議会制度定数・報酬等検討委員会』を立ち上げ、話し合いを続けてきた。特に定数と報酬については、多くの議員が選挙公約として謳っていたこともあり、「鉄は熱いうちに…」ではないが、できるかぎり早急に結論を出したかった課題である。

※ ※ ※

議員定数の適正規模については、専門家の間でも意見が分かれており、明確な根拠となるものがない。以前は人数の多さが批判的となっていたが、最近では『減らしすぎにより民意が反映できていない』『大幅に減らせばいいという訳ではない』との論調が目立つ。したがって、それぞれの自治体で『おおむねこの辺りかな…』という経験則に頼るしかない。

『中村さん、“市民ウケ”を狙って大幅な定数削減はしない方がいいですよ』と他市の議員から指摘されたが、振り返ってみるとそうした“市民ウケ”狙い、つまり『どのくらい減らせば市民は納得するのか』という観点からの議論はあまりなかったように思う。むしろ、機能面から議員定数の適正規模を議論したのが今回の特徴だったという印象が強い。

『偶数より奇数の方が望ましい』というもの一例である。これは、議員数が10名のある町議会で市町合併に対する考え方が半分ずつに分かれてしまい、採決の結果、議長を輩出したグループが負ける(議長は採決に加われないため)という“ねじれ現象”が生まれたことを受けて出されたものだ。

また、現在4つある常任委員会についても、将来的には3つに再編成した方が良いとの意見も出され、『1つの常任委員会につき何名の議員がいることが望ましいか』という議論を進めていくうちに議員定数について『21』という数字が自然と浮かび上がってきた。

これまでなら真っ先に疑問として出てきた『他市の状況は?』という議論も、最終段階に入って『ああ、関東地方で人口8万人レベルの市では、議員定数が21のところが多いのか…』と確認程度にとどまったことも今回の特徴と言える。決して、市民ウケを狙った訳でも、他市に右へならえをした訳でもなく、真岡の市議会議員が、様々な角度から議論をしながら至った独自の結論であることはご理解をいただきたい。

※ ※ ※

報酬についても前年度同様に20%削減を継続することとなった。正直に言えば、議員として活動する上で諸々の経費を報酬の中から捻出しなければならないことを考えると痛手なのは事実である。しかし、震災で多くの市民が何らかの被害を受け、復旧・復興までにはまだ時間がかかることを考慮すれば議員自ら身を削るのとは当然のことと言える。『市民の皆さん頑張りましょう』『我々議員は頂けるものはしっかり頂きます』という理屈は通用するはずがないと思うのである。

※ ※ ※

しかし、定数と報酬の問題のみをもってして議会改革が完結する訳ではない。議員個々のスキルアップや質問方法のあり方、市民に対して議員の仕事の“見える化”や意見交換の場の設定、それらを規定する議会基本条例の制定などについても切り込んでいかなければならない。それらのことが未着手だったため、これまで定数や報酬を削減しても市民から『まだまだ手ぬるい』との批判を受け続け、いたちごっこを繰り返していたのではなかろうか。それは今回の定数と報酬の削減も例外ではない。議員が議員としてすべき仕事を行い、それが市民に伝わった時に初めて、今回議員が自ら身を削ったことの正確な評価が得られるのだと思う。



# 真政クラブ・公明 会派視察研修

1月26日・27日にかけて、中村が所属する会派「真政クラブ・公明」では、行政視察で岡山県倉敷市へ会派視察研修に赴きました。今回のテーマは「介護保険ポイント制度」でした。

『介護保険ポイント制度』は、65歳以上の高齢者が介護施設などでボランティア活動をした場合、1時間につき100ポイントが付与され、年度末に1ポイントにつき1円換金される仕組み。平成20年に就任した伊藤香織市長のマニフェストに盛り込まれ、22年度から実施している。

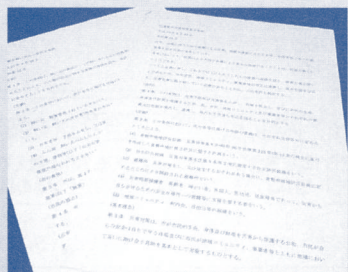
522名の登録者のうち、換金したのは148名(22年度の実績)であり、『ボランティアだからお金はいらないと考えている人が多いのでは』という倉敷市側の分析だった。

個人的には、高齢者がボランティア活動に参加する“はじめの一歩”として有効な手段にはなっていると思えたが、ボランティア活動の対象範囲がより広い『地域通貨』と重なる点も多く、どちらが真岡市に適用しているか議論が必要とも感じた次第。

### (追記)

今回の視察では、このほかに倉敷市議会事務局の方からお願いして『災害対策基本条例』と『飼い犬ふん害防止条例』の資料をいただいた。

いずれも議員提案による条例で(議会は“立法機関”なので当然と言われるかも知れないが、議員提案の条例を作っている議会は、真岡市議会も含めて極めて少ない)条例の中身や制定のプロセスなど、これから調査してみたいと考えている。



この視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。(議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の個人負担です。

総額	52,760円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代		

※なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページにて掲載予定です。

ぜひお越し下さい!

第7回

## 中村かずひこ 市政報告会

日時 5月25日(金) PM7:00~

会場 大谷公民館(高岡酒店西側)

前回の様子より



## 中村かずひこと 未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこ未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受け付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕  
真岡信用組合本店  
普通口座 2099671

中村かずひこ未来をつくる会  
代表 中村和彦



# 中村かずひこ活動日誌

### 1月

- 4日 市職員仕事始め式
- 6日 百人一首かるた大会  
賀詞交歓会
- 7日 出初式
- 8日 成人式
- 10日 市議会議員OB会
- 11日 真岡新聞音訳作業  
(「ひばりの会」の活動として)  
真岡青年会議所総会
- 12日 1~3期議員有志勉強会
- 13日 サクシードカフェ  
(於:宇都宮市)
- 16日 あいさつボランティア  
市議会だより編集委員会  
自治基本条例検討市民会議を傍聴  
真岡青年会議所創造美育推進委員会
- 17日 芳賀広域ごみ処理施設起工式  
『ひばりの会』定例会  
栃木市議会『議会報告会』を見学
- 19~20日 関東若手市議会議員の会役員会・研修会  
(小山市、真岡市)
- 22日 大谷地区冬まつり  
桜町陣屋跡の保存と活用を考える会総会
- 23日 あいさつボランティア
- 25日 大竹市議会(広島県)真岡市視察の対応
- 26~27日 真政クラブ・公明会派視察研修  
(岡山県倉敷市)
- 27日 石坂真一県議「新春の集い」
- 30日 会派代表者会議  
1~3期議員有志勉強会

### 2月

- 3日 真岡中学校校立志式
- 4日 真岡自然観察会役員会
- 6日 あいさつボランティア  
交通安全市民大会
- 7日 自治基本条例検討市民会議を傍聴
- 8日 議員協議会  
議会制度定数・報酬等検討委員会
- 9日 真岡青年会議所例会
- 10日 芳賀郡市「副議長会」  
(於:茂木町)
- 13日 あいさつボランティア  
真岡青年会議所創造美育推進委員会
- 14日 会派代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
議会基本条例勉強会
- 16日 ライブリー教室作品展  
とちぎローカルネットワーク「野嵐会」  
(於:高根沢町)
- 17日 質疑・一般質問調整会議  
真岡会
- 20日 あいさつボランティア
- 21日 2月定例議会開会
- 22日 真岡青年会議所街頭募金活動
- 27日 質疑・一般質問1日目
- 28日 質疑・一般質問2日目

### 3月

- 1日 芳賀地区広域行政事務組合定例議会
- 2日 民生産業常任委員会
- 3日 市民活動推進センター利用者協議会
- 4日 伊夜日子会奉仕作業  
湯澤英之鹿沼市議「新春の集い」
- 5日 あいさつボランティア  
民生産業常任委員会
- 6日 建設常任委員会  
真岡青年会議所例会
- 7日 森山浩行衆議院議員「育てる集い」  
(於:東京都港区)
- 9日 真岡中学校卒業式
- 11日 高田山専修寺「遠忌報恩大法会」
- 12日 予算審査特別委員会  
会派代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
真岡青年会議所創造美育推進委員会
- 14日 2月定例議会閉会  
会派代表者会議  
議員協議会
- 15日 真岡地区遺族会役員会
- 18日 『伊夜日子会』奉仕作業
- 19日 あいさつボランティア  
真岡西小学校卒業式
- 21日 明治大学校友会栃木県支部役員会
- 22日 真岡工業高校を個人視察
- 24日 合併3周年「市民の集い」
- 25日 大谷地区総会  
『伊夜日子会』総会
- 26日 やまさわの里役員会